

# 平成18年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行っていくのか、具体的に記載してください。

### (1) 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

地域ケアプラザは地域の様々な方が利用される施設であるため、事故の起こらないよう空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者が安心して、また安全にご利用いただけるよう努めまいりました。しかし、平成18年12月にはノロウイルスの感染があり、感染拡大を防止するために貸し室業務を1週間、通所介護業務を4日間休業いたしました。その後も感染症予防のための施設内消毒を継続して行っております。

#### イ 効率的な運営への取組について

地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めています。労務管理については法人全体でアウトソーシングを行い効率的に行っています。

また建物管理、保守、送迎車輛リース等の委託業者の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図りました。平成18年度は建物の定期点検と保全計画を策定しました。

#### ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応いたしました。平成18年度のご意見・ご要望は7件ありました。ご本人のご要望を伺い、可能な範囲で改善できる部分の対応をいたしました。

また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みを行いました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザは区役所と特別避難場所の協定を結んでいますので、災害時には要援護者の非難場所に指定されます。地域に要援護者の避難施設であることをPRするとともに、日ごろから災害応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備し、職員の意識を向上して災害緊急時に備えています。

平成18年度はデイサービスのご利用者や貸し室利用者等を含めた避難訓練を2回行いました。また、貸し室説明会において災害緊急時の対応について説明を行いました。備蓄品についても賞味期限の確認や水の追加整備を行いました。

#### オ 事故防止への取組について

介護サービスの提供中にヒヤリとしたりハッとしたことなどを朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意を喚起しながら事故の未然の防止に努めてまいりました。また所内での会議などにおいても他の事業所での事故の事例や事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。残念ながら平成18年度は転倒骨折事故が1件発生しましたが、横浜市に報告すると共に、損害賠償保険の適用とし、お客様への保障を行いました。

#### カ 情報公開への取組について

地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程にのっとり、積極的に情報を公開することに努めてまいりました。今年度は情報開示の請求は有りませんでした。

またホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

#### キ 環境等への配慮及び取組について

節電・節水・コピー用紙の裏面活用・ごみの減量化を励行し、資源ごみの分別収集の協力を行いました。利用者の皆様には館内での禁煙をお願いしています。また、使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には適切な室温を維持するなど、節電への取り組みを行いました。

### (2) 職員配置・育成について

#### ア 職員体制について

委託事業を適切に実施できる専門職の配置を行い事業を実施しました。今後は多様なニーズや介護保険制度の見直しなどの社会情勢の変化に応じ、専門分野に限らず、多様な業務に対応できる職員の育成が必要になると考えられますので、各種研修に参加し幅広い知識と技術を身につけた職員を育成するよう努めました。

#### イ 職員の研修計画について

年度当初に年間の研修計画をたて、より良いサービス提供を目指して、職員の定期的な研修を実施しました。外部研修にも積極的に職員を参加させました。また、様々な研修情報を職員に提供して自己啓発研修や、資格取得を勧めました。

#### ウ 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また施設内で個人情報保護、情報セキュリティ研修を今年度2回行い意識の啓発に努めました。日常的にもミーティングの中で取り扱いについての注意を喚起してまいりました。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類、またフロッピーディスクなどは施錠できるロッカーなどで保管しています。また、施設内における個人情報保護の取り扱いマニュアルを定め所員全員に周知徹底して実施しています。

### (3) 事業内容

#### ア 関係機関との連携について

福祉・保健に関する様々な事業を展開していく中で、区の福祉保健センター、社会福祉協議会、地域の医療機関、介護サービス事業者、地域の様々な組織などと日頃から連携を取り、協力し合い、お互いに顔の見える関係作りに努めてまいりました。

#### イ 地域団体との連携について

地域の自治会、町内会、民生委員児童委員協議会に参加させていただき、介護保険制度の改正点や介護予防の考え方について説明させていただきました。また、今年度は特に老人会やふれあい会、一人暮らし高齢者の食事会において介護予防の啓発活動と共に特定高齢者の選定のためのチェックシートを実施しました。老人会、ボランティア団体、障害者団体などと日頃から情報交換を行い、ともに連携して地域における高齢者・障害者・子育ての支援に関する取り組みを行いました。

### ● 地域活動・交流事業

#### ウ 運営協議会の開催時期・議題について

##### ○開催時期

第1回 6月1日（前年度事業実績報告・当該年度事業計画承認）

第2回 11月30日（上半期事業実績報告・下半期事業計画承認）

##### ○議題

地域の代表の方々に向けて、地域ケアプラザにおける事業計画・事業実施報告を行いました。また、各種ご要望等をお伺いし、地域ケアプラザのより良い運営を行えるように助言ご指導をいただきました。平成19年度は開館10周年を迎えるため、実行委員会を設置し、記念行事の実施に向けて準備を開始しました。

#### エ ボランティア育成について

身近な地域で活動していただけるボランティアを育成するために、障害者支援ボランティア講座を西区社会福祉協議会と共催で行いました。また、ボランティア感謝会を開催し団体間の交流を行って、ネットワーク作りをすすめました。

#### オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

ケアプラザの貸室においては、地域の保健・福祉・医療の団体に有効活用していただけるよう、広報誌等で利用状況等を情報提供しました。また、貸し室説明会を行い、各団体がルールに従って気持ち良く施設を使用できるよう話し合いを行いました。地域ケアプラザを様々な世代の市民の皆様が利用できるよう各種講座を企画し、広報誌等でPRを行いました。その結果平成18年度の来館者数は15,014人でした。

#### カ 地域活動・交流部門における自主事業の事業展開について

高齢者の介護予防のインフォーマルサービスとして活用できる、体操や趣味の会を継続的に行いました。障害者の支援としては、地域住民が自閉症や発達障害を理解しボランティア活動に参加する切っ掛けを持てるよう講座を開催しました。また、障害児が放課後に地域の中でくつろいやすくさせる場を提供するために、余暇支援「とんぼ」を西区社会福祉協議会と共催で毎月行っています。子育て支援としては、子育て中の方々向けに交流の場を提供するとともに、育児について相談ができる場や、親子が遊びを通してスキンシップを図れる講座を3回開催しました。

ケアプラザを利用したことのない住民のために、また、自宅の近くで一人暮らし高齢者が集える場を提供するために、県営住宅の自治会館を借りて、サロンを実施しました。

## ● 地域包括支援センター事業

### キ 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

地域包括支援センターの役割について、広報誌やパンフレットを掲載し地域に配布しました。連合町内会や、自治会、民生委員・児童委員協議会の会合の席で説明をさせていただきました。またケアプラザ内での各種講座やミニデイサービス、「藤棚茶房」などでは継続的に説明をさせていただいていますが、地域の老人会やお茶の間会などの会合でも出前講座としてお話をさせていただきました。ケアマネジャーと民生委員の情報交換会を行い顔の見える関係作り、連携作りを行いました。

### ク 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- 町内会や老人会、一人暮らし高齢者食事会、趣味の教室などに「出前講座」をさせていただきます、介護予防の重要性についての啓発講座を行いました。
- 高齢者向けに、いきいきチェックシートを活用してアンケートをおこない、心身機能が低下している高齢者を発見して、介護予防プランと一緒に作成し、地域支援事業への参加や区の保健師による訪問事業に結びました。
- 地域交流事業と連携し介護予防教室（折り紙教室、童謡唱歌を歌う会、編み物の会、情報アドバイザー等）への参加を推進しました。
- 地域支えあいネットワークで情報交換を行いました。
- 転倒骨折予防教室のOB会「悠友クラブ」「若がえり会」「ひまわり会」を継続して開催しました。
- 地域支援事業の転倒骨折予防教室の修了者向けにハイキングの会「はつらつクラブ」を立ち上げ定期的にハイキングを実施しています。

### ケ 介護予防ケアマネジメント事業

#### □ 介護予防マネジメントの実施目標について

- 介護予防マネジメント数 3月末介護予防支援給付管理実績数 120件  
特定高齢者ケアプラン作成数 23件
- 地域支援事業への参加者 23人

#### □ 担当地区の現状

- 高齢者数 4,100人
- 特定高齢者数（推計） 205人
- その他、地区の現状

急な勾配の山坂や細い道路が多い地域であり、古くから住んでいる住民が単身や高齢夫婦世帯となり、外出に困難が生じている方が多く見受けられる。住民の高齢化率は24.6%を超えている。地域で活動する役員やボランティアも高齢化しており、後任を探すのに苦労している。新しく建ったマンション住民の地域への参加が今後の課題となっている。

#### □ 特定高齢者の候補者数を把握するための方法、手段について

（高齢者の食事会等、民生委員との連絡会など）

- 地域交流事業との連携の中で、ケアプラザで行っている高齢者向け自主事業のすべてでチェックシートを行いました。
- 民生委員・児童委員協議会から紹介を受けた方を訪問して、地域支援事業の紹介を行いました。
- 老人クラブの会合で特定高齢者のチェックシートを取らせていただき、該当者のケアプランを作成して地域支援事業に結びました。
- 一人暮らし高齢者の食事会でもチェックシートを取らせていただきました。

#### □ 平成18年度特定高齢者を把握するためのルートの構築について

- 地域ケアプラザの広報誌に介護予防の取り組み状況を掲載しました。
- 地域交流事業の各講座で介護予防の紹介を行いました。
- 地域の民生委員や自治会長から心配な高齢者を紹介していただき、一緒に訪問させていただきました。

#### コ 総合相談・支援事業

- 地域ケアプラザで24時間、高齢者だけでなく障害者、子育てなどの相談が受けられることを、広報誌などでPRしました。
- 地域の方から相談があった時には迅速に対応し、高齢者等の心身の状況や生活環境等を把握し、必要なサービス事業者や医療機関・専門機関へと繋ぎ、連携して支援を行いました。
- 必要がある場合には相談者の自宅を訪問し相談に応じました。

#### サ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

- 区の困難事例検討会に参加し、知識や技術を向上させるとともに、専門機関にすぐに相談できる関係作りをおこなって参りました。
- 区内の社会福祉士会議の中で権利擁護の勉強会を講師を依頼して、区・社協と共に継続して行っています。
- 相談しやすいケアプラザを目指し、連合町内会や民生委員協議会に頻繁に出かけ、顔の見える関係作りを日頃から心がけて活動してまいりました。
- 介護負担の大きいご家族には、ケアプラザの介護者教室を紹介するとともに、区内のボランティア団体である「介護者の集い あげぼの会」を紹介して、連携をとりながら支援を行いました。介護者の集いと共催で定期的に交流会を行いました。
- デイサービスの利用者ご家族に介護者教室の紹介を行いました。
- 介護者教室を地域やケアマネジャーにPRして、介護負担が大きくなっている介護者が相談できる場がある事を広報しました。
- ケアマネジャーや民生委員からの相談で虐待事例を発見した場合には区役所の担当者と同行訪問して状況を確認し継続的に見守りを行っています。緊急性のある場合は区に依頼して施設への保護等行いました。区役所やケアマネジャー・サービス事業者等と連携をとりながら対象者やご家族の支援を行いました。

#### シ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 毎月第1, 3水曜日をサービス担当者会議開催支援として設定して、状況により地域包括支援センター職員、区役所担当が助言者として出席しています。その他、タイムリーなカンファレンスやケアマネジャーからの電話相談を、3職種で連携して対応しました。
- 西区ケアマネ研究会の研修担当委員会、医療連携委員会に参加し、研修や講座を協働で企画し、顔の見える関係作りを行なってまいりました。
- 西区医師会、サービス提供事業者、地域の組織・団体との連携により、包括的・継続的なケア体制の構築を目指し活動しています。
- 新任ケアマネジャー支援として西区の4ケアプラザ協働で新任支援研修を行いました。

#### ス 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

- 地域包括支援センターから居宅介護支援事業所に委託が可能とされている介護予防支援業務（介護予防ケアプランの原案作成等）については、利用者の選択を十分に尊重した上で、サービス利用者と従来からケアプランを作成していたケアマネジャー・居宅介護支援事業所との信頼関係を維持するためにも、原則として、都道府県の指定を受けた居宅介護支援事業所に、介護予防支援業務を委託してまいりました。
- 地域包括支援センターは、要介護（要支援）認定を受ける前の「特定高齢者」（要支援・要介護になるおそれのある人）から、要支援（「要支援1・2」の認定を受けている人）まで、総合的・一体的に介護予防マネジメントを実施し、住み慣れた地域で継続的な支援を受けられることを目指すため、新規に要支援の認定を受けた方については、地域包括支援センターが介護予防ケアプランを作成いたしました。
- 介護予防支援業務については、介護保険の指定介護予防支援事業所として実施する業務であるため、地域支援事業の「包括的支援事業」委託の保健師1名とは別に従事者を確保し、介護予防ケアプランの作成が滞ることのないよう、実施体制をとりました。
- 地域包括支援センターは、介護予防支援（介護予防ケアプランの作成等）の全体を所管することから、介護予防サービス事業者の選択を左右し得る立場になるため、公正・中立の確保を行っています。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

《利用者実績数》

※「見込数」は半角で数字を入力し、単位は省略してください。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	19 1月	2月	3月	合計
実績数	4	17	34	45	57	65	79	88	94	100	104	120	807

【単位：人】

## ● 通所介護事業

### 《提供するサービス内容》

- ご利用者が自立した日常生活を営むこと及びご利用者のご家族の負担を軽減させていただくことを目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、個別機能訓練・口腔機能向上等を行いました。また、ご利用者のご家族に向けて介護方法の周知等を行いました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- 介護計画書の目標をケアマネジャーのケアプランの目標と共有化を図り、お客様の自立支援に向けての支援を行いました。

### 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

#### ● 1割負担分（1回あたりの金額）

基本額（通常規模型）	経過的要介護	6 4 5 円
	要介護 1	7 1 8 円
	要介護 2	8 3 7 円
	要介護 3	9 5 5 円
	要介護 4	1, 0 7 4 円
	要介護 5	1, 1 9 3 円

- 入浴介助加算 5 3 円
- 口腔機能向上加算 1 0 6 円
- 個別機能訓練加算 2 9 円
- 食費負担 6 5 0 円

（1日あたりの食材料費・調理費（おやつ代含む））

- 通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。
- キャンセル料（前日の営業時間終了までに、ご連絡がない場合、食材料費 4 5 0 円を頂きます。）

### 《事業実施日数》 週 7 日

### 《提供時間》 9:45～15:50

### 《職員体制》

管理者	1 名	（常勤兼務 1 名）
生活相談員	4 名	（常勤兼務 4 名）
看護職員	6 名	（非常勤兼務 6 名）
介護職員	2 5 名	（非常勤専従） 2 5 名
機能訓練指導員	6 名	（非常勤兼務 6 名）
調理員	6 名	（非常勤 6 名）
運転手	3 名	（非常勤 3 名）

### 《目標》

- （1）ご利用者が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供いたしました。
- （2）通所介護計画書の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行いました。
- （3）心身機能の向上を目標として、個別機能訓練や口腔ケアを実施しました。
- （4）サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービ

ス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止又は要介護状態になることの予防に資するように十分配慮いたしました。

- (5) ケアプラザは、従業員の資質向上を図るための研修を定期的におこないました。また業務体制を整備しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 「無料お試し利用」としてデイサービスを無料で体験していただきました。利用を迷っておられる方には好評で、32名の方にご利用いただきました。その内8割の方が利用に繋がりました。
- ・ 厨房で調理した温かくておいしい家庭料理で季節感のあるメニューを毎回楽しんでいただいています。
- ・ 工夫を凝らした手作りおやつと、日本各地から取り寄せた銘菓をお楽しみいただいています。

《利用者実績数》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実績数	759	727	755	754	694	717	745	709	541	681	664	721	8,467

※「見込数」は半角で数字を入力し、単位は省略してください。 【単位：人】



## ● 介護予防通所介護

### 《提供するサービス内容》

- ご利用者が自立した日常生活を営むこと及びご利用者のご家族の負担を軽減させていただくことを目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、運動器機能訓練・口腔機能向上等を行いました。また、ご利用者ができることはご自分でいながら、社会的交流を持つことで、潤いを持った生活を楽しんでいただけることを目標にしています。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

### 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（利用料、利用者負担金は月単位の定額制です。送迎・入浴も単位数の中に含まれています。）
  - （要支援1） 2, 360円
  - （要支援2） 4, 615円
- 運動器機能向上加算 239円
- 口腔機能向上加算 106円
- 食費負担 650円  
（1日あたりの食材料費・調理費（おやつ代含む））
- 通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。
- キャンセル料（前日の営業時間終了までに、ご連絡がない場合、食材料費450円を頂きます。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:45～15:50

### 《職員体制》

管理者	1名	（常勤兼務1名）
生活相談員	4名	（常勤兼務4名）
看護職員	6名	（非常勤兼務6名）
介護職員	25名	（非常勤専従）25名
機能訓練指導員	6名	（非常勤兼務6名）
調理員	6名	（非常勤6名）
運転手	3名	（非常勤3名）

### 《目標》

- （6） ご利用者が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて、介護予防通所介護サービスを提供しました。
- （7） 介護予防通所介護計画書の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が現在やっていることを継続し、できることを広げて、より自立した日常生活を営むことができることを目標としました。計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行いました。
- （8） 運動器機能向上訓練と口腔機能向上訓練を個別にご指導することにより、身体機能に応じた健康の増進を目標にまいりました。
- （9） サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止又は要介護状態になることの予防に資するように十分配慮しました。

(10) ケアプラザは、従業員の資質向上を図るための研修の機会を設けるものとし、また業務体制を整備いたしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 「無料お試し利用」としてデイサービスを無料で体験していただきました。利用を迷っておられる方は是非お試し下さい。
- ・ 厨房で調理した温かくておいしい家庭料理を毎回提供しました。季節感のあるメニューをお楽しみいただきました。
- ・ 工夫を凝らした手作りおやつと、日本各地から取り寄せた銘菓をお楽しみいただいています。

《利用者実績数》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実績数	4	14	25	37	47	46	75	73	63	75	95	127	681

※「」は半角で数字を見込数入力し、単位は省略してください。 【単位：人】

● 居宅介護支援事業

- 適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行いました。
- 事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- 居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として実施してまいりました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- プラザの通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族に対して事前に文章で説明した上で、支払いに同意する旨文書に署名（記名）、押印をいただきました。その上で以下の方法で実費を頂きました。
  - ① 公共交通機関を利用した場合  
公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。
  - ② 自動車を利用した場合  
プラザより片道 6.5km 未満は無料とし、6.5km 以上は 10km ごとに 160 円をいただきます。

《利用者実績数》

※「見込数」は半角で数字を入力し、単位は省略してください。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実績数	43	43	42	40	40	38	39	40	40	40	39	36	480

【単位：人】

● その他

セ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

ケアプラザは専門職がチームで支援することで、乳幼児から高齢者まで、地域住民がそれぞれの世代、年代に応じて必要なサービスを利用するための相談窓口です。ケアプラザは地域の福祉関係者や医療関係者、サービス事業者、様々な専門機関等と連携を行い、地域の中にネットワークを作ることを目指しています。そのネットワークを作ることによって、地域が抱えている様々な問題を解決する方法を住民の皆様と一緒に考えてまいります。平成 18 年度は一人暮らしで認知症の高齢者が悪質業者に狙われるケースが 2 件あり、区のケースワーカー・保健師や地域のケアマネジャー・サービス事業者等と連携してご本人の保護を行いました。

#### ソ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

各部門での検討事項、決定事項については、定例の会議の中で職員全員に周知しました。日常的には報告・連絡・相談を相互に行い、職員間のコミュニケーションが円滑に行えるように努めました。ローテーション勤務であるため連絡もれが起こりがちですが、連絡メモ・連絡ノート・所内メールを活用し、様々な情報については所内回覧やメールによる情報の共有化を図ってまいりました。

パートスタッフ向けには連絡ノートと掲示板の活用により、お客様への対応が異なることのないよう連絡体制をとりました。

<以上>

# 平成18年度自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児放課後支援「とんぼ」	障がい児の放課後の居場所（活動場所）づくりを行う。 室内レクリエーション	毎月第2火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚茶房	地域の高齢者の閉じこもり防止。 ミニデイサービス。体操・発声練習・レクリエーション。	毎月第1金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あじさいの会	懐かしい思い出深い童謡・唱歌を歌い、元気で自立していくためのお手伝い。	毎月第3水・土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガ教室	夜の貸室状況をみて、地域の若い方々に藤棚ケアプラザに来ていただける様にヨガ教室を開催。	毎週火曜日 月4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
しらゆりの会	折り紙の会。指先を使い折り紙を折ることで脳を活性化。 仲間作りのお手伝い。初心者向け。	毎月第4水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すずらんの会	上記の上級者向け。	毎月第2土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども絵手紙教室	子育て支援の一貫として地域の親子を対象とした絵手紙教室。	毎月第2土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
編み物クラブ	編み物をすることで、指先を使い脳の活性化。	毎月第1土曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
悠々クラブ 若返り会 ひまわり会	転倒骨折予防基本教室のOB会。 転等・骨折・閉じこもり予防。	各会とも月2回

## 平成18年度自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みつわの会	独り暮らしの高齢者を対象に安否確認をしながら、美味しいお弁当を配達。	毎月第2・4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
e ネットにし探検隊	藤棚地域ケアプラザにパソコンを設置し、パソコンの使い方や解らないところをアドバイス。	毎週水曜日 毎月第1日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カンタン！ 男の料理教室 「作味会」	簡単に作れる栄養満点の料理を作り、会食しながら仲間を作りのお手伝い。	毎月第4木曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で遊ぼう 「ベビーマッ サージ」	子育て支援の一貫。マッサージでスキンシップをとり、親子の絆を深めてもらう。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で遊ぼう 「歯型づくり」	子育て支援の一貫。お口の中に関心をもってもらい自分の歯のかたちをみる。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で遊ぼう 「ペイントで遊 ぼう」	パソコンでお絵かき。パソコンの操作の仕方、エチケットを学んでもらう。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン講座 「暑中見舞い」	暑中見舞いの葉書、便箋を作成する。パソコンの操作に慣れてもらい、作成の喜びをあげてもらおう。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコン講座 「パソコンで年 賀状を作ろう」	パソコンで年賀状を作成。パソコンの操作に慣れてもらい、作成のよろこびをあげてもらおう。	年1回

## 平成18年度自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらっクラブ ハイキング	市内を中心に歩く。18年度転倒骨折予防体操の卒業生を中心に下肢筋力の衰えを防ぐ。	各月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	藤棚地域ケアプラザを知ってもらえる様に地域の会館に向き情報提供を行う。	毎月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚バザー	地域の方々に藤棚地域ケアプラザに来ていただき、日頃の活動を知ってもらう。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア 感謝祭	日頃活動して下さっているボランティアさんに感謝し労う。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者教室 介護体験談	認知症の正しい知識・体験談を共有することで、精神的な負担を軽減してもらう。あけぼの会の方の認知症ケアの体験談を聞く。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公開講座 「青年後見制度」	成年後見制度を理解することで住み慣れた地域で安心して暮らしてもらうことを目的とする。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者教室 ほのぼの 「施設見学」	介護者に最新の施設の情報を提供する。	年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者教室 「あけぼの会との交流」	介護者同士の情報交換で介護負担の軽減をはかってもらう。	年2回

## 平成18年度自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者教室 ほのぼの 「防ごう！悪徳 商法からの被 害」	悪徳商法の事情を理解してもらい実情を理解し被害を未然に防ぐ。ビデオを観ながら悪徳商法の概要やクーリングオフの方法を学ぶ。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児サポート ボランティア講 座	西区社会福祉協議会と共催。 区内の障害児の訓練会・余暇支援・一時預かりなどの個人のニーズなど、障害児のサポートに対応できるボランティアを育成する。知的障害児・自閉症児との接し方（疑似体験と講義）放課後支援の子ども達との交流。	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者教室 ほのぼの 「服薬の知識」	必要な知識を得ることで、正しい服薬により健康を維持することができる。薬剤師の先生に薬と上手に付き合える様にアドバイスをもらう。	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
公開講座 「MSWと話そ う」	医療と連携することで、スムーズな在宅生活の支援の方法を学ぶ。	1回



# 平成18年度 自主事業収支報告書

事業名	①対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
障がい児放課後支援 (とんぼ)	中学生	13,389					13,389
	12名						
	200円						
ベビーマッサージ	新生児	16,666			16,666		
	12名						
	無料						
子供絵手紙教室	小学生まで	1,050				1,050	
	3名						
	無料						
歯型づくり	小学生まで	33,333			33,333		
	6名						
	無料						
転倒骨折予防OB会	高齢者	160,299			160,299		
	1回20名ぐらい						
	無料						
みつわの会	ボランティア団体	280					280
	12名						
	なし						
貸室懇談会	登録者	4,050					4,050
	23名						
	なし						
藤棚バザー	地域住民	14,591		11,100			14,591
	118名						
	無料						
ボランティア感謝祭	ボランティア	25,762					25,762
	28名						
	なし						
ご存知ですか？青年後見制度	地域住民	17,777			17,777		
	26名						
	無料						
NSWと話そう	地域住民	3,333			3,333		
	27名						
	なし						
		290,530	0	11,100	231,408	1,050	58,072

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成18年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：横浜市藤棚地域ケアプラザ

(自)平成18年4月1日  
(至)平成19年3月31日

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	20,917	23,002				
	介護保険収入			2,321	7,224	83,886	7,294
	その他						
	認定調査	0	0	0	520	0	0
	居介支受託分	0	0	0	533	0	0
	追加配布	0	0	0	0	0	0
	システム購入費	0	0	0	0	0	0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>20,917</b>	<b>23,002</b>	<b>2,321</b>	<b>8,277</b>	<b>83,886</b>	<b>7,294</b>
支出	人件費	10,807	20,656	0	6,011	44,775	3,894
	事務費	1,934	1,553	318	1,056	15,475	1,346
	事業費	771	21				
	管理費	6,074	0	0	0	1,689	147
	その他						
	福祉用具委託	0	0	0	0	0	0
	他居介支委託分	0	0	1,464	0	0	0
	利用者軽減	0	0	0	0	192	17
	消費税	540	0	0	0	0	0
	追加配布	0	0	0	0	0	0
	システム購入費	0	495	0	0	0	0
戻入額	791	277	0	0	0	0	
	<b>支出合計(B)</b>	<b>20,917</b>	<b>23,002</b>	<b>1,782</b>	<b>7,067</b>	<b>62,131</b>	<b>5,404</b>
	<b>収支 (A)－(B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>539</b>	<b>1,210</b>	<b>21,755</b>	<b>1,890</b>

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

(単位:千円)